



470 Japan Championships Kanto Area Qualifying Race in 2019

2019 全日本 470 選手権 関東水域予選レース

SAILING INSTRUCTIONS

Organising Authority (OA): 関東 470 協会、神奈川県セーリング連盟

1. 規則

- 1.1. 本大会は『2017-2020 セーリング競技規則』（以下『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2. 言語間で矛盾がある場合は、日本語のテキストが優先される。
- 1.3. SI は NoR よりも優先する。これは規則 63.7 を変更している。
- 1.4. 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.4.1. [SP] は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.4.2. [NP] は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。

2. [DP] [NP] 識別

- 2.1. 艇はフリートリボンをマスト・トップまたはメインセイルトップバテンエンドに確実に取付ける事。

3.

4. 競技者への通告

- 4.1. 通告は、大会 Web サイト <http://www.enoshima470.org/470-kanto-championships> にも掲載される。

5. 帆走指示書の変更

- 5.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 10:00 以前に掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初の予告信号の 90 分以前に掲示される。

6. 陸上の信号

- 6.1. 陸上で発する信号は、次の通りである。
 - 葉山港
 - レース運営室横のポールに掲揚される。

江の島ヨットハーバー

クラブハウス 2 階のポールに掲揚される。

- 6.2. 信号がレース・エリアまたは艦隊旗の上に表示される場合、それはそのレース・エリアまたはフリートにのみ適用する。これは規則レース信号を変更している。
- 6.3. 回答旗が陸上で掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「40 分以降」と置き換える。
- 6.4. **[NP][DP]**音響信号 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後 40 分以降に発する。」ことを意味する。江の島ヨットハーバー以外の艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。
- 6.5. 関東 470 協会 Twitter (<https://twitter.com/470Kanto?lang=ja>) にて 葉山港レース運営室横のポールに掲揚される識別旗情報など、レース関連情報がアップされる。

7. レガッタフォーマット

- 7.1. 470wold 参加選手+協会推薦選手 1 フリート / 予選レース参加選手 2 フリートに分けて行う。
- 7.2. 順位は 470wold 参加選手+協会推薦選手 1 フリートと予選レース参加選手と個別に行う。
- 7.3. 予選レース参加選手
 - 7.3.1. フリート全体をできる限り同数（同レベル）になるように Yellow、Blue に分ける。最初のレースのフリート分けは、関東 470 協会によって任命された委員会によって振り分ける。また、各イベントの最初に予定されたレースの日の 10:00 までに掲示される。
 - 7.3.2. 大会初日に 1 レースしか完了していない場合を除き、各日のレース終了後、艇はシリーズの順位をもとに新たなフリートに分けられる。2 つのフリートが同じレース数完了していない場合は、同じレース数になった時点の順位でフリートに分けられる。フリート分けは次の通りとする。

順位	フリートの割り当て
1 位	Red
2 位	Blue
3 位	Yellow
4 位	Green
5 位	Green
6 位	Yellow
7 位	Blue
8 位	Red
以下同様	

2 艇以上が同じ順位の場合、SI7.3.2 でのフリートの順に振り分けられる。

- 7.3.3. フリートは、抗議またはまだ決定されていない救済の要請にかかわらず、各日 21:00 時点の順位をもとに割り当てられる。
- 7.3.4. 同日に 3 つのフリートのレース数が同じだけ完了していない場合、同じレース数になる様に、次の日もそのフリートでレースを続ける。全ての艇はその後に新しいフリート分けを行う。

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付		時刻
Day1 6月29日 (土)	受付登録	0820-0920 hrs.
	江の島 1階 A会議室 葉山 レース運営室 艇長会議	0930 hrs.
	江の島 1階 A会議室前 葉山 レース運営室前 最初の予告信号予定時刻	1100 hrs.
Day2 6月30日 (日)	最初の予告信号予定時刻	TBA
	表彰式・閉会式	TBA

- 8.2. 1日のレース数は3レースとする。
- 8.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。
- 8.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。
- 8.5. 最終日の予告信号は14:00より後には発しない。

9. クラス旗

クラス旗（フリート旗）及び識別リボンは以下の通りとする。

x	Fleet Insignia	Ribbon	Color or Background Color
470wold 参加選手+協 会推薦選手フリート	470	無し	Pink
予選フリート	Red	Red	Red
	Blue	Blue	Blue
	Yellow	Yellow	Yellow
	Green	Green	Green

10. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum A に示す。

11. コース

- 11.1. SI Addendum B の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 11.2. コースの短縮は行わない。これは規則 32 を変更している。
- 11.3. 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。また、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

12. マーク

12.1. マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

Marks 1, 2, 3s,3p, 4s,4p	New Mark	Starting Line Mark	Inflatable Finishing Line Mark
青色円錐台	赤色の円錐台	レース委員会艇	レース委員会艇 黄色の細い円筒形

12.2. スタートラインとフィニッシュラインはレース委員会艇か、インフレーターブルマークである。

13. スタート

13.1. スタートラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗」を掲げたポールの間とする。

13.2. [DP] [NP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから 100m とする。

13.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は規則 A4 及び A5 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

14.1. コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14.2. ゲートマークを除き、艇はコースの変更を知らせるレース委員会艇をスターボード側に、隣接するマークをポート側になる様に通過しなければならない。この項は規則 28.1 を変更している。

15. フィニッシュ

フィニッシュラインはレース委員会艇のオレンジ色旗を掲揚しているポールと黄色の細いブイのコース側間とする。

16. ペナルティー方式

16.1. 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。

16.2. 付則 P2.2 は変更し、最初のペナルティー後にペナルティーに適用される。また、付則 P2.3 は適用されない。

17. タイムリミットと目標時間

17.1. タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish window	Target Time
75 分	20 分	10 分	45-50 分

17.2. マーク 1 のタイムリミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

17.3. 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインド内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4、A5 を変更している。

17.4. 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

18. 抗議と救済の要求

- 18.1. 抗議書は、レースオフィスで入手できる。抗議または救済や審問再開の要求は適切な制限時間内に提出しなければならない。
- 18.2. それぞれのフリートに対して、抗議締切り時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。
- 18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 15 分以内に通告を掲示する。審問は葉山港レースオフィスの中の区切られたスペースにて抗議締切時刻後 15 分以内に開始される予定とし、掲示された場合はその時刻に始められる。
- 18.4. レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき伝えるために公示する。
- 18.5. 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。
- 18.6. 規則 64.3 (b) に関する事項の「責任ある当局」は 470 のテクニカル委員長である。
- 18.7. 大会計測規定、クラスレーまたは [DP]および [SP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、プロテスト委員会事務局に準備されたフォームに記入して提出することで裁量ペナルティーを受け入れることができる。
- 18.8. [SP]印の SI 違反は、レース委員会が審問なしに標準的なペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は規則 60.1、63.1 および付則 A5 を変更している。
- 18.9. [NP]印の SI 違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a)を変更している。
- 18.10. 予選シリーズや決勝シリーズ最終日では、審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。
 - a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には抗議締切り時刻内。
 - b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された場合には通告された後 30 分以内。この項は、規則 66 を変更している。

19. 得点

- 19.1. 付則 A の低得点方式を適用する。
- 19.2. 大会の成立には 1 レースを完了する事が必要である。
- 19.3. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 19.4. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

20. [DP] [NP]安全規定

- 20.1. レースに参加（出艇）しない艇は、レースオフィスに書面にて連絡しなければならない。
- 20.2. [SP] チェックアウトチェックイン
 - 20.2.1. レースに参加しようとする競技者は、出艇前に各ハーバーレースオフィスにて「出艇申告書」にサインしなければならない。
 - 20.2.2. 帰着した艇の艇長は、抗議締切り時間内に各ハーバーレースオフィスにて「帰着申告書」にサインしなければならない。
- 20.3. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後、出来るだけ早く「リタイア報告書」を提出しなければならない。

20.4. [DP] レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

20.5. レース委員会が数字旗 8 を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇とサポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

21. [DP] 乗員の交代と装備の交換

21.1. 競技者の交代はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。また、レース公示の制限を遵守しなければならない。

21.2. 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会にその委員会に行われなければならない。

22. [DP] 装備と計測のチェック

22.1. 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	神奈川県セーリング連盟RC旗
プロテスト委員会	黒地に 白色で " JURY "
メディア	白地に 青色で "MEDIA"
テクニカル委員会	黄色地に黒色 "Measurer"

24. 支援艇

24.1. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上外側にいなければならない。

25. [DP] ゴミの処分

我々はセイラーとして、海洋と沿岸海域を保護し復元しようとしている。規則 55 を参照。意図的に水の中にゴミを入れてはならない。ごみは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

26. [DP] [NP] 停泊

艇は、ハーバーにいる間、割り当てられた場所に保管しなければならない。

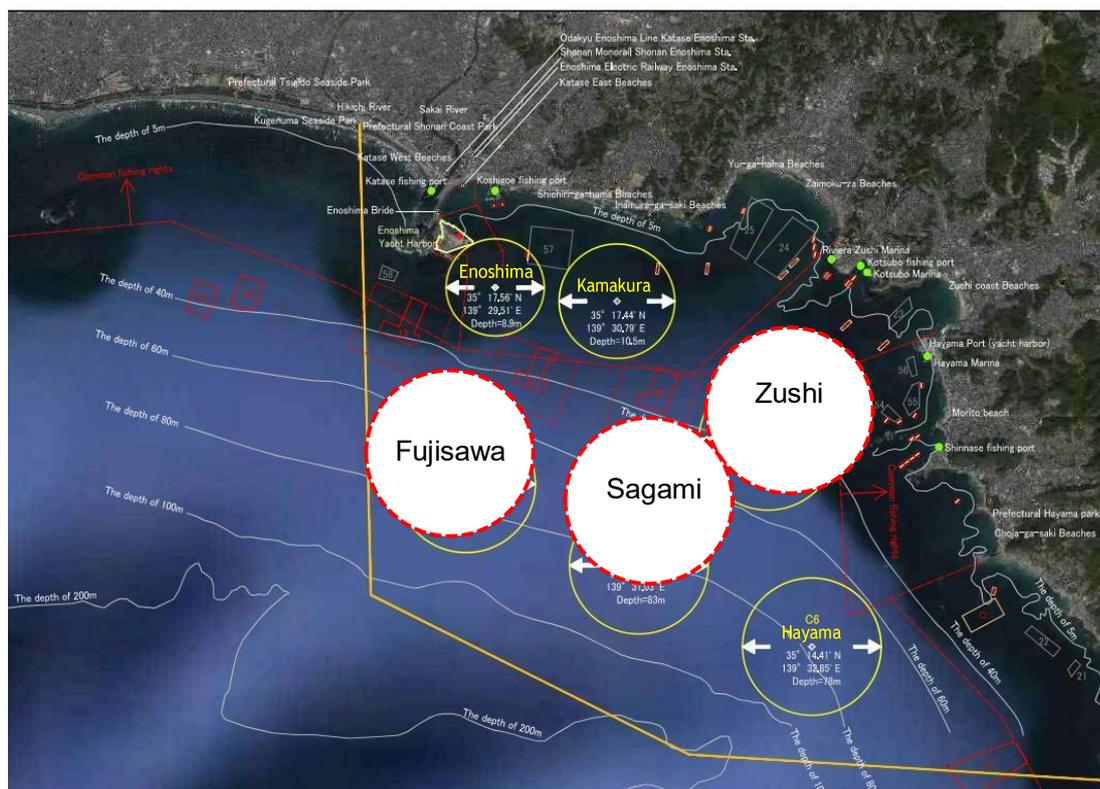
27. [DP] 無線通信

緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

28. 賞

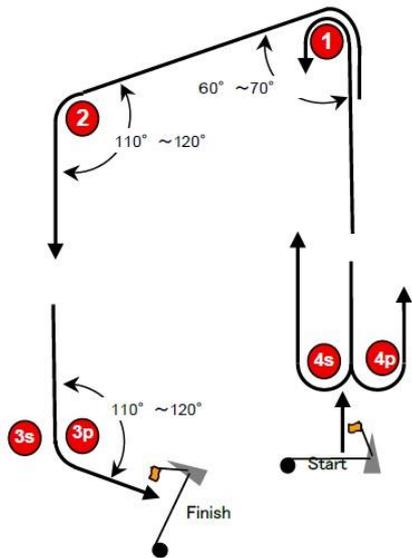
レース公示の準ずる。

SI Addendum A COURSE AREAS



SI Addendum B COURSE ILLUSTRATION

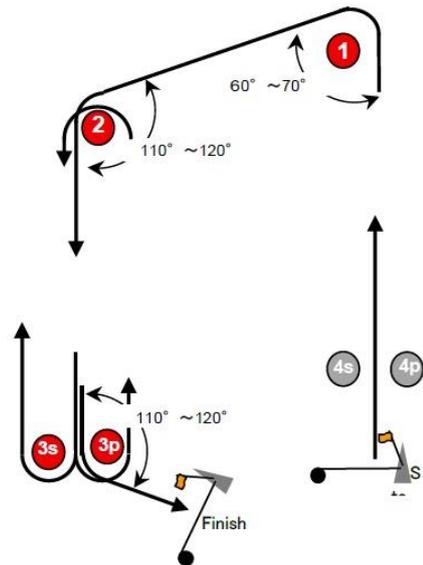
I



Course : Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start -1 -4s/4p -1 -2 -3p -Finish
I3	Start -1 -4s/4p -1 -4s/4p -1 -2 -3p -Finish

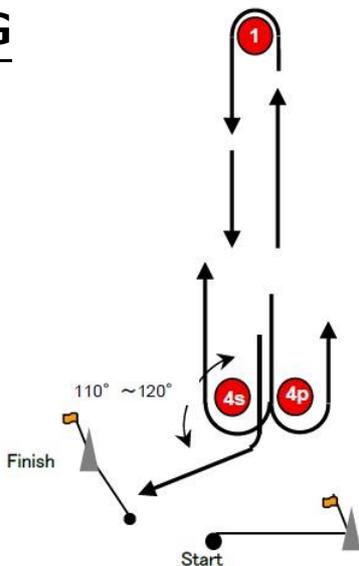
O



Course : Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start -1 -2 -3s/3p -2 -3p -Finish
O3	Start -1 -2 -3s/3p -2 -3s/3p -2 -3p -Finish

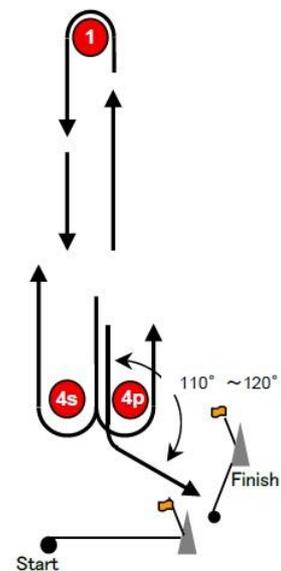
LG



Course : Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start -1 -4s/4p -1 -4s-Finish
LG3	Start -1 -4s/4p -1 -4s/4p -1 -4s -Finish

LR



Course : Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start -1 -4s/4p -1 -4p -Finish
LR3	Start -1 -4s/4p -1 -4s/4p -1 -4p -Finish

SI Addendum C

Race	Order 1 (前)	Order 2 (後)
R1	Red	Blue
R2	Red	Yellow
R3	Red	Green
R4	Yellow	Green